

知るたび、楽しくなる

たるたび *Tabi*

— 小樽歴史探訪散策コース —

見て楽しい
知って楽しい
8つのモデルコース



小樽

2つの日本遺産&歴史的ストーリー

小樽には、数々の歴史的財産があります。ニシン漁で財を成した親方たちが建てた豪華な番屋や、様々な物資を運んだ北前船の寄港で賑わうまち並み、海岸沿いに建てられた大型の倉庫群。鉄道が開通し、石炭の供給基地として発展を遂げた小樽は、「北日本随一の都市」となります。やがて衰退の途を辿りますが、小樽の象徴である運河を残そうと立ち上がった市民の心がありました。小樽を形作るそれぞれのストーリーを、ぜひ感じてください。



写真提供:小樽市総合博物館



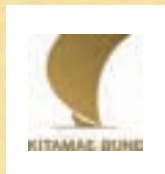
写真提供:小樽市総合博物館



荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間
～北前船寄港地・船主集落～

北前船 KITAMAEBUNE

江戸時代中期から明治30年代にかけて、北海道と大阪を主に日本海回りで往来した商船郡は「北前船」と呼ばれ、「動く総合商社」と形容されるほどその富は莫大なものでした。明治2年に開拓使が設置されると、各地からの移民で人口が急増。小樽港は、交易品と生活物資を運ぶ寄港地として発展を遂げ、北前船主たちによって大規模な倉庫などが建造されます。日本海の荒波を越え、一攫千金を夢見た男たちが、人・物・文化を運んだ『北前船』。北海道にやってきた人たちの生活を支え、小樽の発展の基礎をつくったとも言えるのです。



本邦国策を北海道に観よ！
～北の産業革命「炭鉄港」～

炭鉄港 TANTETSUKOU

明治維新後、開拓が進められた北海道。空知では明治12年に幌内炭鉱が開鉱、明治15年には手宮一幌内間で鉄道が開通し、石炭輸送が開始されます。明治30年代には北海道随一の港町となっていた小樽は、更に発展を遂げ、その軌跡は港湾や鉄道施設、炭鉱経営も行いう財閥系商社の支店社屋などとして現在も数多く残されています。しかし、他港との競争に敗れ、商業・金融機能が次々と札幌へ移転するなど、昭和40年代には衰退の兆しが見え始め、『炭鉄港』は国策としての使命を終えていきます。



北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽
～「民の力」で創られ蘇った北の商都～

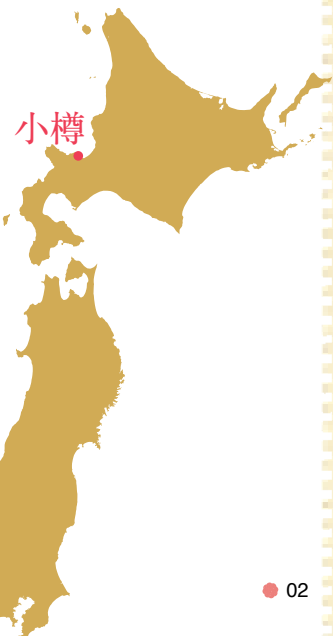
心臓 HEART

かつて小説家・小林多喜二は小樽のまちを「北海道の心臓」と表現しました。『心臓』の契機は、石炭輸送のため北海道初の鉄道が開通したことです。豊富な北海道の資源の物流拠点となった小樽は、最盛期には25の銀行が活躍し発展しました。昭和40年代に石油へのエネルギー転換などにより小樽港の取扱貨物が減少し、荒廃した運河を埋め立て道路建設の計画が決定。取り壊される倉庫を見た市民は、「まちの記憶」を守るため運河保存運動を始めます。10年にもわたる運動は、運河の一部を散策路として整備し観光都市・小樽の礎となりました。歴史を生かす新たな展望を示した運動は、まちづくり運動の先駆けとなり、観光都市として再生させたのです。



日本遺産 & 目次 歴史的ストーリー 散策コースガイド

- 01 小樽だけの音と光 P03
- 02 堺町の歴建めぐり P05
- 03 異国情緒溢れる銀行跡を歩く P07
- 04 ノスタルジックな北運河 P09
- 05 小樽の愛されフード P11
- 06 祝津エリアを堪能 P13
- 07 パワースポットで運氣UP P15
- 08 自然を満喫ドライブ P17
- 小樽市MAP P19



01

小樽には小樽の音と光の世界がある

半日
COURSE

小樽にはガラスだけではなく、オルゴールを扱うお店も数多く存在し、街を歩くとほっとするのにどこか切ない音が聞こえてきます。また夜になると、色々な場所がライトアップされ、昼とは違う光輝く小樽の景色が見えてきます。小樽運河では街灯が水面に映り、幻想的な風景に。お気に入りの「小樽だけ」を見つけてみては？

01 小樽オルゴール堂 本館(旧共成株)

明治24年創業の、北海道有数の精米、米穀商が使用していた建物は、メルヘン交差点の顔といえる存在です。石造りの建物が多い中で珍しい褐色の煉瓦造り。アーチ型の窓と蒸気時計が異国情緒を感じさせ、オルゴールの音色には癒し効果もあります。



INFORMATION

☎ 0134-22-1108 住 住吉町4-1

徒歩
1分

02 小樽オルゴール堂 手作り体験 遊工房(旧上勢友吉商店)

現存する数少ない本石造3階建の店舗建築。瓦葺きの屋根にドーマと呼ばれる屋根窓、正面の壁には要石を強調した窓を並べました。左右非対称の造りも特徴的です。



自分だけの
オルゴールづくりが
できちゃう☆

INFORMATION

☎ 0134-21-3101
住 入船1-1-5



03 北一硝子三号館 北一ホール(旧木村倉庫)

1つ1つ手で灯される167個の石油ランタンが輝く幻想的な空間の店内では、スイーツやコーヒー、お食事を楽しむことができます。

INFORMATION

☎ 0134-33-1993
住 堺町7-26



一つ一つの
ランタンを
手で灯しています

06 小樽運河クルーズ

小樽運河中央橋発着、運河と港を巡る40分ほどのクルージングです。キャプテンが、運河の歴史や倉庫、小樽港をご案内します。デイクルーズはもちろん、ナイトクルーズもロマンティックですよ。

INFORMATION

☎ 0134-31-1733
住 港町5-4 (小樽運河中央橋)

徒歩
4分

05 小樽北勝庵(旧塚本商店)

大正9年建築の、呉服太物商店舗を利用した十割蕎麦専門店。日本一の蕎麦の名産地である北海道・幌加内の蕎麦粉を使用し、十割でありながらコシの強さと喉越しの良さが特徴の蕎麦が楽しめます。



INFORMATION

☎ 0134-26-6464
住 色内1-6-27

徒歩
4分

04 堺町散策

ゆるやかなカーブの通りには、古い建物を利用した店舗が建ち並び、大正ロマンを感じさせるノスタルジックな路地もあります。おみやげを探したり、写真を撮ったり、着物姿でそぞろ歩きにもピッタリな通りを散歩してみてください。



INFORMATION

小樽堺町通り商店街振興組合観光案内所
☎ 0134-27-1133 住 堺町6-11



古い建物を
利用したお店が
いっぱい

02

堺町で歴建巡り お気に入りの カワイイを見つけよう

半日
COURSE

お土産探しや食べ歩きなど、最も観光気分を味わえるのが堺町通りです。回りを見渡せば多くの歴史的建造物も。風合いを活かして生まれ変わった、おしゃれなお店に足を運んでみましょう。

01 UNWIND HOTEL & BAR OTARU (旧越中屋ホテル)

北海道で初めて外国人専用ホテルとして昭和6年に建築された「旧越中屋ホテル」をリノベーション。重厚でクラシックな雰囲気と現代的感性が融合した世界観で、特別なひとときを過ごせます。

おしゃれな
空間でお食事が
楽しめます



INFORMATION

☎ 0134-64-5810 住 色内1-8-25



徒歩
2分

02 大正硝子館 本店(旧名取高三郎商店)

西側と南側にあるのは防火のために設けられた、富の象徴“うだつ”。外壁は札幌軟石が使われ、上部の壁を鉄柱で支える作りは、明治後期の代表的な商家建築といえます。

INFORMATION

☎ 0134-32-5101
住 色内1-1-8



07 くぼ家(旧久保商店)

小間物雑貨卸を営む久保商店の店舗として建てられ、現在は店舗の雰囲気を生かした喫茶店になっています。カワイイを見つけた後は、甘いものでほっと一息はいかが？

INFORMATION

☎ 0134-31-1132
住 堺町4-4



徒歩
1分

06 奥野商店

2020年2月オープンの生活雑貨のお店。明治開業の店舗を活用して、レトロな雑貨やかご、懐かしグッズなどが所狭しと並ぶ様子はワンダーランド！つい夢中になってしまいそうです。

INFORMATION

☎ 0134-34-2711 住 堺町3-22



徒歩
1分

05 小樽硝子の灯 彩や (旧北海雑穀株)

とんぼ玉や吹きガラスの制作体験で人気のお店です。初めての方やお子さまでも大丈夫、スタッフが丁寧にサポートしてくれます。「ガラスのまち小樽」で、世界にひとつだけのとんぼ玉を作ってみませんか？

お気に入りの
ものを作ろう

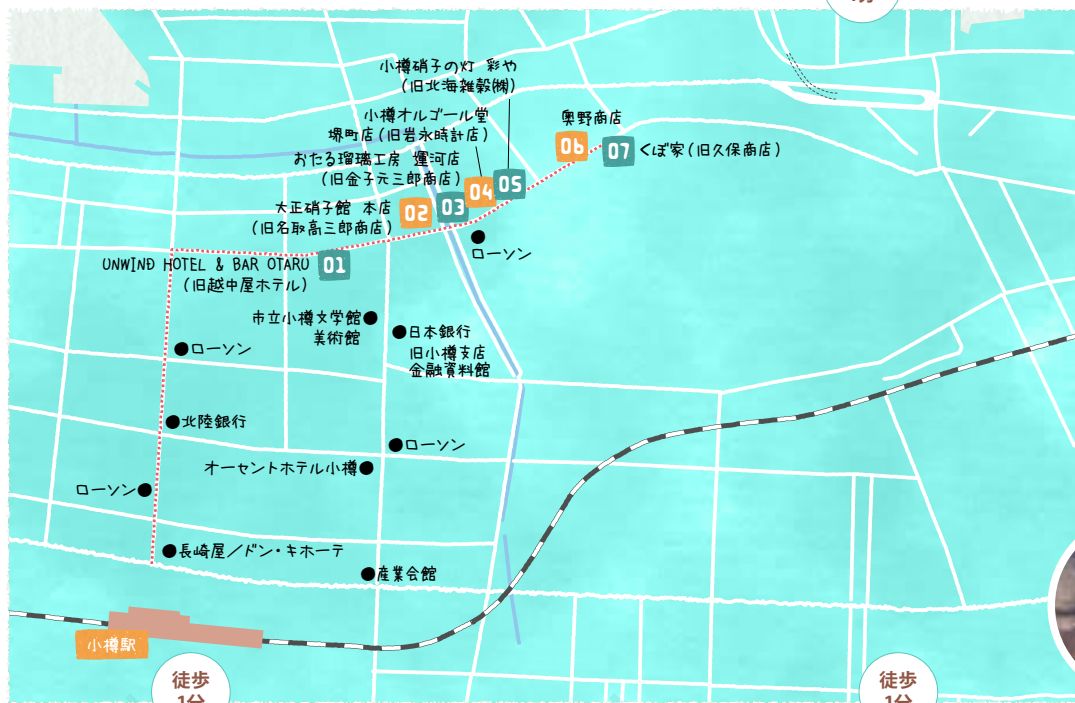


INFORMATION

☎ 090-2870-1701
住 堺町1-18



徒歩
1分



03 おたる瑠璃工房 運河店 (旧金子元三郎商店)

お手頃な価格で豊富な品揃えのアクセサリー専門店です。地元作家が手がける作品は全て1点もの手作り、お土産にもピッタリ。

INFORMATION

☎ 0134-31-5101
住 堺町1-22



04 小樽オルゴール堂 堺町店(旧岩永時計店)

明治30年代建築の建物を利用した店舗には、繊細な音色を奏するオルゴールがいっぱい。明治の佇まいそのままに、郷愁を感じる空間はまるで違う世界に迷い込んだよう。

INFORMATION

☎ 0134-31-1110
住 堺町1-21



03

当時の繁栄をものがたる 異国情緒溢れる銀行跡を歩く

半日
COURSE

この界隈は、明治、大正、昭和の初めには多くの銀行が軒を連ね、小樽の経済活動の中心地として発展、最盛期には25の銀行が活躍し、北日本随一の都市として繁栄しました。今も残る銀行の建物の多くは、小樽市指定歴史的建造物となっています。軟石で組まれた壁や太い円柱は異国情緒たっぷり。今ではカフェやレストラン、美術館として活躍中です。

01 日本銀行旧小樽支店 金融資料館

日本近代建築の基礎を築いた辰野金吾や、その弟子たちにより設計され、構造には当時の最先端技術を駆使しています。2002年まで地方経済の発展に貢献していましたが、現在は金融資料館として公開されており、1億円の重さを体験できます。



INFORMATION

☎ 0134-21-1111 住 色内1-11-16

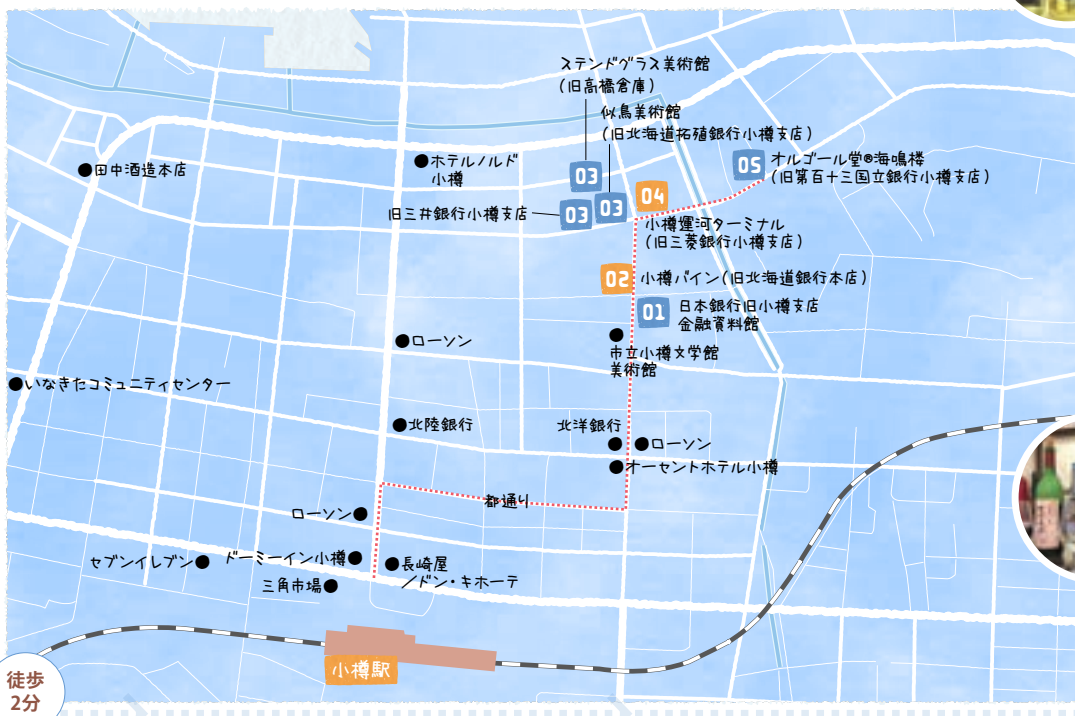


02 小樽バイン (旧北海道銀行本店)

玄関や窓まわりの石組みデザインが特徴の重厚な正面は、ほぼ完成当時の姿を残しています。クラシックなイメージを活かし、地産地消を目指したレストランとして再利用。北海道の各種ワインが楽しめます。

INFORMATION

☎ 0134-24-2800
住 色内1-8-6

徒歩
1分

03 小樽芸術村 似鳥美術館 (旧北海道拓殖銀行小樽支店)

大正12年、小樽経済の絶頂期に建設された銀行建築を活用した美術館。金庫扉や吹き抜けホールの大きな柱等の意匠は美術品との相乗効果をもたらします。

INFORMATION

☎ 0134-31-1033
住 色内1-3-1

徒歩
2分

05 オルゴール堂®海鳴楼 (旧第百十三国立銀行小樽支店)

明治28年建築の建物を使用した明るい店内には、ここでしか買えない海鳴楼ブランドのハンドメイドオルゴールが並びます。世界にたった一つのオリジナルオルゴールを作ることができます。

INFORMATION

☎ 0134-23-6505 住 堺町1-20



04 小樽運河ターミナル (旧三菱銀行小樽支店)

1階正面に並ぶ6本の半円柱が、ギリシャ・ローマ建築様式を思わせる4階建てのビルです。運河と堺町通りを結ぶ徒歩ルート上にあり、ばんじゅう店、ワインショップ、写真店などが入る商業施設として運河観光の拠点となっています。



INFORMATION

住 色内1-1-12

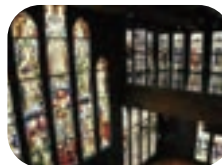
徒歩
4分徒歩
2分

03 小樽芸術村 ステンドグラス 美術館(旧高橋倉庫)

19世紀後半から20世紀初頭にかけてイギリスで作られ、実際に教会の窓に飾られていたステンドグラスが展示されています。美しい作品の数々を楽しめます。

INFORMATION

☎ 0134-31-1033
住 色内1-2-17



03 小樽芸術村 旧三井銀行小樽支店

鉄骨鉄筋コンクリート造、石積み風の古典的な外観をもつ小樽を代表する近代建築です。建築当時の姿を留める内部を見学できるほか、プロジェクションマッピングも楽しめます。

INFORMATION

☎ 0134-31-1033
住 色内1-3-10



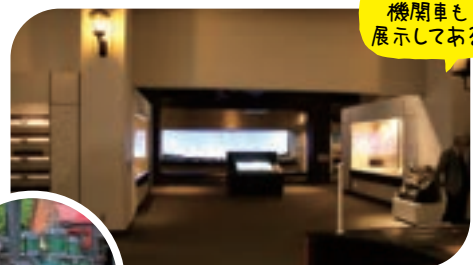
04

ノスタルジックな雰囲気 の北運河エリアをおさんぽ

「小樽といえば運河」を感じる物語には、海運業で賑わう港を支えた人びとの足跡があり、倉庫や工場の歴史があります。北運河エリアではそれぞれに込められたロマンやストーリーを紐解きながら、当時の面影と石畳の散歩が楽しめます。

01 小樽市総合博物館 本館

蒸気機関車「しづか号」をはじめ北海道を代表する鉄道車両を展示、北海道鉄道の歴史も紹介しています。中でも明治18年竣工の機関車庫三号は、現存する日本最古の機関車庫です。プラネタリウムや季節の様々なイベントも楽しめます。



昔の資料や
機関車も
展示してある

INFORMATION
☎ 0134-33-2523
📍 手宮1-3-6



徒歩
8分

02 旧右近倉庫・旧広海倉庫・旧増田倉庫

明治27年建築の旧右近倉庫、明治22年建築の旧広海倉庫、明治36年建築の旧増田倉庫は、当時の北前船主たちが建造した木骨石造の大規模倉庫群。3棟並んで建つ様子は、かつての倉庫街の壮大な景観が蘇るようです。

INFORMATION 📍 色内3-10-18～19



半日
COURSE

07 小樽百貨UNGA↑(旧小樽倉庫)

約130年前に建てられた北海道最初の営業倉庫。現在、中央の赤煉瓦棟は北前船寄港地の産品やオリジナル商品を揃えたセレクトショップになっています。

INFORMATION
☎ 0134-65-8150
📍 色内2-1-20



オリジナルの
雑貨やお菓子は
お土産に最適

06 vivre sa vie+mi-yyu (旧早川支店)

明治37年建築の小樽市指定歴史的建造物を利用した可愛い雑貨屋さん。ガラス戸をくぐると、落ち着いた色合いの文房具やアクセサリなどが迎えてくれます。

INFORMATION
☎ 0134-24-6268
📍 色内2-4-7



徒歩
2分

05 田中酒造本店

明治32年創業、小樽の地酒「宝川(たからがわ)」を代表銘柄とした、市内唯一の造り酒屋です。本店は店舗として昭和2年に建設されて以来、現在まで営業を続けており、市内だけで販売されているお酒はお土産にも最適です。



小樽美人には
美容に嬉しい
成分がいっぱい

INFORMATION
☎ 0134-23-0390 📍 色内3-2-5



徒歩
4分

03 北運河を散策

小樽運河の北部は「北運河」と呼ばれ、その幅は昔ながらの40mを残しています。北海製罐倉庫(株)第三倉庫や旧日本郵船(株)小樽支店などが静かに佇む様子は、ノスタルジックな雰囲気に包まれています。

INFORMATION 📍 色内3-1付近



04 ゴールドストーン・プレスカフェ(旧澁澤倉庫)

北運河付近に建ち、倉庫の造りは本体の前に2棟の角屋と呼ばれる小さい建物が突き出ている個性的な形です。現在はレストランやイベントホールになっています。

INFORMATION(ゴールドストーン)
☎ 0134-33-5610
📍 色内3-3-21



INFORMATION(プレスカフェ)
☎ 0134-24-8028
📍 色内3-3-21



ゴールドストーン

プレスカフェ



05

小樽市民の お腹を満たす 愛すべき小樽フード

半日
COURSE

その昔、小樽の港湾労働者たちに重宝されたのは手軽に食べられて腹持ちの良い餅やばんじゅうでした。市民にも愛されるそれらのお店は今でも多く存在し、早いお店では午前中の内に完売してしまうところも。お腹いっぱいコースを堪能してみては？

01 みなともち 中央市場店

大福、田舎まんじゅう、しんこもちやお赤飯などが並び、こちら老舗のお餅屋さん。本店は花園ですが、JR小樽駅より徒歩5分の中央市場内に支店があり、中心部でも気軽に買えるのが嬉しいですね。



INFORMATION

☎ 0134-27-5515

住 稲穂3-11-3 小樽中央市場三棟内

徒歩
3分

02 旧手宮線散策路

明治13年に北海道最初の鉄道、官営幌内鉄道として部分開通した手宮線。線路跡は散策路として整備され、季節の花や木々などが訪れる人々を迎えています。インスタスポットとしても人気です。



INFORMATION 住 稲穂1～色内3(約1.6km)

07 景星餅菓商

大正時代から続く、小樽の老舗のお餅屋さん。店内には大福や、すあま、べこ餅など昔ながらのお餅が並んでいます。特にべこ餅は黒糖を使用し、コクと香りが特徴です。

INFORMATION

☎ 0134-22-0157 住 入船2-4-7



06 小樽新倉屋花園本店

明治28年創業、「小樽名物花園だんご」で知られる和菓子店。店内にはお菓子とコーヒーでのんびりくつろげる喫茶スペースがあり、散策のひと休みにもぴったりです。

INFORMATION

☎ 0134-27-2122

住 花園1-3-1

徒歩
12分

05 桑田屋

ばんじゅうは、人々の日頃のおやつとして昔から親しまれてきました。桑田屋では、こしあん・粒あん、生キャラメルやカマンベールチーズといった味から、季節限定や、変わり種の味まで楽しむことができます。



INFORMATION

☎ 0134-34-3840

住 色内1-1-12
小樽運河ターミナル1F徒歩
6分

03 正福屋

見ていだけで楽しくなるばんじゅう屋さん。ぎっしりと餡やクリームが詰まったばんじゅうは大満足の美味しさ。ベビーカステラやソフトクリームもおすすです。

INFORMATION

☎ 0134-26-6910

住 稲穂2-9-12



04 中華食堂 桂苑

都通商店街のアーケード内にある、地元から愛されている食堂です。数あるメニューの中でも一番人気はあんかけ焼そば。麺も餡も具材もたっぷりです。

INFORMATION

☎ 0134-23-8155

住 稲穂2-16-14



06

自然に近い水族館もある ニシン漁の栄華が残る祝津

1日
COURSE

かつて小樽に好景気をもたらした1つはニシン漁でした。ヤン衆と呼ばれた漁夫たちが暮らし、作業をしていたのが番屋と呼ばれる建物です。祝津には今でもたくさんの番屋が残り、またニシン漁で栄華を誇った網元の、贅沢な御殿や暮らしも垣間見ることができます。ここは小樽を知る上でポイントとなる、歴史が色濃く残るエリアです。

01 小樽海上観光船

おたる水族館や鯨御殿のある祝津へは観光船「あおばと」祝津航路がおすすめ。小樽運河から徒歩約1分の第3埠頭より出航するのでアクセスも便利です。オタモイ周遊コースや屋形船もおすすめ。



海上観光船に乗って祝津へ

INFORMATION

☎ 0134-29-3131

📍 港町4-2(第3埠頭観光船のりば)



02 祝津パノラマ展望台

標高約70mからは日本海の絶景が見渡せます。港や赤岩の海岸線、高島岬の日和山灯台や小樽市鯨御殿を望み、小樽の海が一面に広がるビューポイントです。朝日と夕日が美しい名所でもあり、漁船やフェリーの往来を見ることがもできます。



絶景を背景にフォトフレームで記念撮影

INFORMATION

📍 祝津3

03 おたる水族館

大自然の中にある水族館。海を仕切っただけの「海獣公園」エリアは、アザラシやトドが野生に近い環境で暮らしています。イルカやペンギンのパフォーマンスも人気です。

INFORMATION

☎ 0134-33-1400

📍 祝津3-303



※新型コロナウイルスの影響により、ショーの内容が一部変更または中止になる場合があります。事前にHPをご確認ください。



06 にしん御殿 小樽貴賓館(旧青山別邸)

明治大正時代にニシン漁で富を築いた青山家の豪邸です。贅を尽くした趣きの違う部屋が18室あり、完成までに6年の歳月を要したといわれています。春には庭園内で牡丹や芍薬が見事に咲き、レストランも併設されています。

INFORMATION

☎ 0134-24-0024

📍 祝津3-63



春〜夏は牡丹や芍薬が咲き誇ります!

徒歩
6分

05 KIMGLASSDESIGN

普段使いの器から、とっておきのギフトや季節の商品まで、幅広い品揃えのガラス工房です。スタッフにサポートしてもらって、吹きガラス体験にチャレンジ! 思い出と世界で一つだけのオリジナル作品を残しましょう。



制作体験も!

INFORMATION

☎ 0134-61-1213

📍 祝津3-8

徒歩
7分

04 民宿青塚食堂

祝津漁師の心意気そのままに、海の幸をふんだんに使ったおもてなしが待っています。朝日に染まる海から夕暮れまで、飽きることのない祝津の景色もごちそうです。

INFORMATION

☎ 0134-22-8034

📍 祝津3-210



※開館・営業時間等については、各施設・店舗に直接お問い合わせください

07

自転車で風を感じて パワースポットをまわって運氣アップ

1日
COURSE

小樽が好景気に湧いた明治、大正期には、豪商と呼ばれる材を成した商人が多数いました。彼らは財力をもって意匠をこらした自邸を作りました。また神社仏閣はいつの時代も人びとに寄り添い、現在もその姿を保ちながら、市民の拠り所となっています。そんなパワースポットを訪ねてみましょう。

01 船見坂

JR小樽駅からすぐの場所にあり、小樽を題材にした映画やドラマなどでたびたび登場する坂道です。全長約260mの急勾配で、振り返ると港まで延びているのが見えます。坂の街小樽を代表する坂といっていていいでしょう。

昔ある船長さんの奥さんがこの坂から港に出入りする船を眺めていたのが名前の由来だとか

自転車
で1分

02 龍宮神社

旧幕府軍の総大将、榎本武揚が建立した神社です。祭事の時に奉納する松前神楽が、国の重要無形民俗文化財に指定されました。神社の名前にちなみ、御朱印帳には昇り龍のような運氣の上がる文字を書いてもらえます。

INFORMATION
☎ 0134-22-4268
📍 稲穂3-22-11



龍宮神社御朱印▶



近くには小樽の台所、中央市場がある

★レンタサイクル店

自転車
で2分

03 中央市場

鮮魚や野菜などを売っている市民の台所です。他にもカフェや雑貨店、ギャラリーでは展示会なども行われ、賑やかな市場は歩くだけでワクワクします。

INFORMATION
☎ 0134-22-5384
📍 稲穂3-11-2



06 ISO(旧磯野支店倉庫)

小林多喜二の小説「不在地主」のモデルとして登場したほか、小樽市都市景観賞も受賞した建物です。現在は、当時の雰囲気を残しながらリノベーションしたレストランとなっています。

INFORMATION

☎ 0134-31-1888 📍 色内2-2-14

レトロな
暖炉もある自転車
で8分

05 住吉神社

道内最大規模の木造社務所がある住吉神社は、小樽の総鎮守として市民に親しまれてきました。境内はハルニシなどの清々しい深緑の樹木に囲まれています。また、副参道には合計33基の赤い鳥居が並び、インスタスポットとしても最適です。



INFORMATION
☎ 0134-23-0785
📍 住ノ江2-5-1



◀ 住吉神社御朱印

自転車
で8分

04 水天宮

境内から小樽港や日本海、小樽の街並みが一望できる小高い丘に建っています。桜の名所の一つで、ライトアップされる夜桜を見に訪れるのも良いですね。

INFORMATION
☎ 0134-22-3495
📍 相生町3-1

桜の季節は
ライトアップもされる

水天宮御朱印▶

海と山に囲まれた街小樽 風景と酒蔵・ワイナリーを楽しむドライブ

1日
COURSE

小樽は海と山がある自然豊かなまち。港を中心に発展をとげ、物資や人の流れがもたらした文化も花開きました。中心部を少し離れてみると、小樽のシンボル天狗山の深い緑や、海の見える展望台など身近に自然と触れ合える場所がたくさんあります。また、酒蔵やワイナリーを巡って小樽だけのお酒をお土産にするのもいいですよ。



01 田中酒造亀甲蔵(旧岡崎倉庫)

北海道米を100%使用し、地酒を1年を通して製造する四季醸造蔵です。試飲コーナーでは蔵元限定や季節限定の日本酒が振る舞われ、いつでも無料で製造場見学ができるのも人気。「たる木小屋」工法の建物です。小樽市指定歴史的建造物にもなっています。

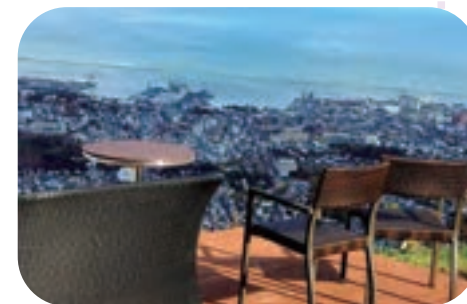


INFORMATION
☎ 0134-21-2390 住 信香町2-2

車で
12分

05 天狗山ロープウェイ

小樽のシンボリックな天狗山。ロープウェイで登る標高532mの山頂からは市街地や日本海、「北海道三大夜景」の一つと言われる美しい夜景を望めます。展望台のほか、絶景を望める「TENGUU CAFE」や新設の「TENGUU テラス」など、施設も充実しています。



INFORMATION
☎ 0134-33-7381 住 最上2-16-15

車で
3分

02 北海道ワイン

北海道ワイン小樽醸造所は、北海道最大級のワイナリー。直売所「おたるワインギャラリー」には、100種類を超えるワインが揃っています。びったりの1本が見つかるかも。

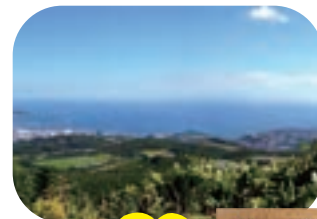
INFORMATION
☎ 0134-34-2187
住 朝里川温泉1-130



03 毛無山展望所

毛無山展望所からは四季折々の眺望を楽しむことができ、また晴れた日には遠く増毛連山も望めます。夜景スポットとしても人気で、多くの人が訪れています。

INFORMATION
住 天神4



フォトフレーム
で記念撮影

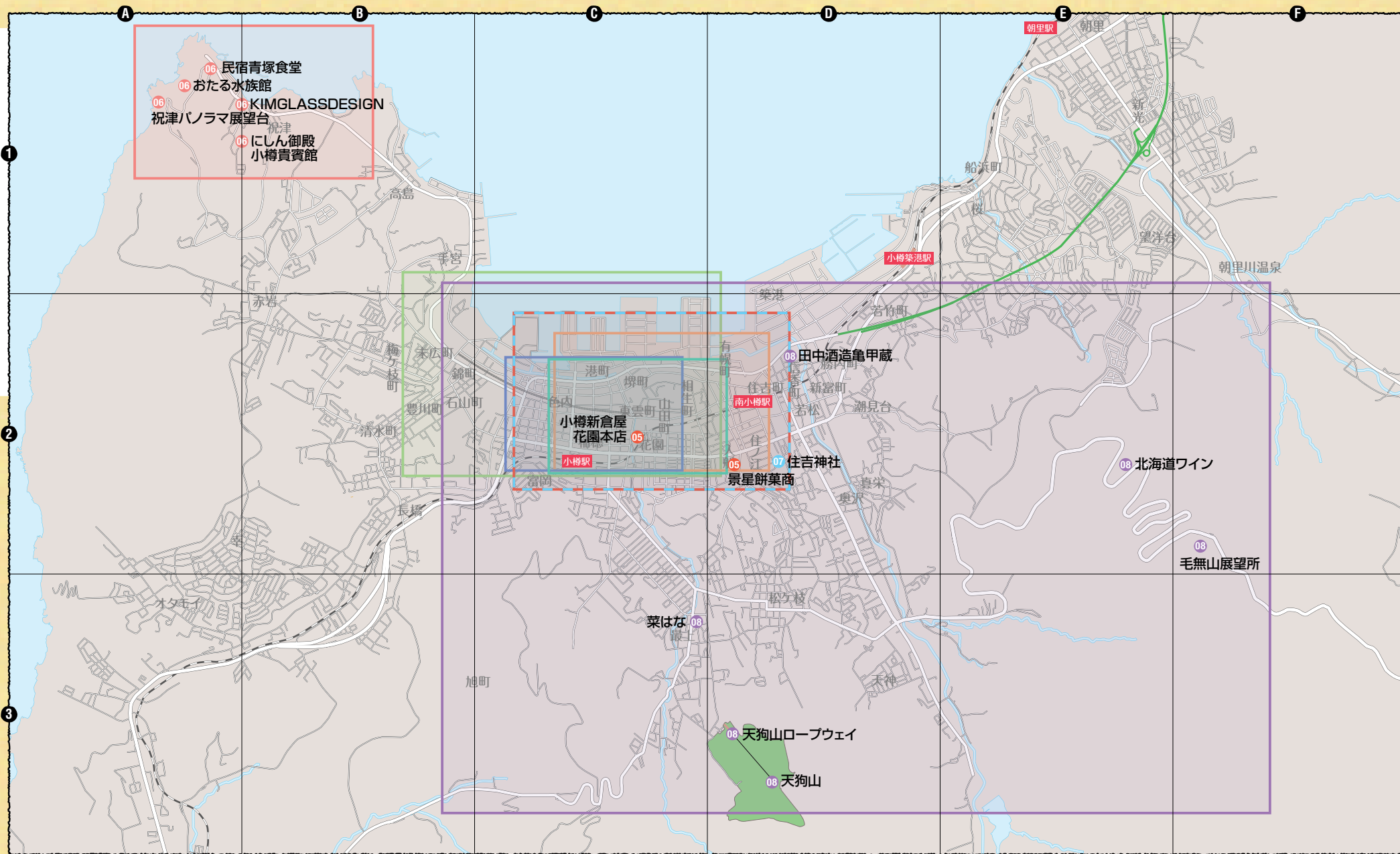


04 菜はな

昭和5年建築の建物を利用した古民家カフェ茶房 & ギャラリー。玄米ご飯のメニューやデザートは女性に人気。キッズメニューや絵本もある、お子さま連れにも安心のお店です。

INFORMATION
☎ 0134-24-1713
住 最上1-3-13





- 06 祝津パノラマ展望台 A-1
- 06 おたる水族館 A-1
- 06 民宿青塚食堂 A-1
- 06 KIMGLASSDESIGN A-1
- 06 にしん御殿 小樽貴賓館 A-1

- 05 小樽新倉屋花園本店 C-2
- 05 景星餅菓商 D-2
- 06 田中酒造亀甲蔵 D-2
- 08 北海道ワイン E-2
- 08 毛無山展望所 F-2

- 08 菜はな C-3
- 08 天狗山ロープウェイ D-3
- 07 住吉神社 D-2

- P03-04...小樽だけの音と光
- P05-06...堺町の歴建めぐり
- P07-08...異国情緒溢れる銀行跡を歩く
- P09-10...ノスタルジックな北運河

- P11-12...小樽の愛されフード
- P13-14...祝津エリアを堪能
- P15-16...パワースポットで運氣UP
- P17-18...自然を満喫ドライブ



北海道の「心臓」と呼ばれたまち

OTARU

小樽市産業港湾部観光振興室

〒047-0007 小樽市港町4-3

TEL 0134-32-4111 (内線7451) FAX 0134-27-8660

<http://otarubunkaisan.jp/>

2024.3



小樽の文化遺産サイト
小樽文化遺産ポータル



Instagram



facebook

